

1220 | 版画 III

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

永井研治教授、遠藤竜太教授、高浜利也教授、今井庸介講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、渡邊洋講師

授業の概要と目標

版画という造形表現を用い、各自がイメージを膨らませ、テーマや表現方法の可能性を探っていく。

通信授業では、「自然」をテーマにして、各自が自由な解釈により、描く行為（ドローイング）を基に、版表現に結び付ける。また、版画作品は 4 版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）のうちから 1 版種を選び学習する。版画制作のためのドローイングの重要性を認識するとともに、素材（版材、紙、インクなど）との関わり、技法の特性等を充分理解し、版技法をどの様に自己の表現に結びつけるかを考察する。面接授業では、「版画 I」と同様の「木版」「リトグラフ」を開設する。「版画 I」で選択していない版種を選び、その基本技法を習得する。

課題の概要

○通信授業課題「自然」

1-1 「自然」をテーマに指定された順番でドローイングする。

1-2 4 版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から 1 版種を選択し、課題 1-1 のドローイングをもとに版画作品を制作する。

○面接授業課題「基本技法の習得」

1-1 「木版」「リトグラフ」のどちらかを選択し、基本技法を習得しながら制作する。「版画 I」で選択していない版種を選ぶこと。

・「木版」イメージサイズ：22.5cm × 30cm

・「リトグラフ」イメージサイズ：30cm × 40cm 程度

授業計画

[通信授業]

学習指導書『版画Ⅲ～Ⅴ 平成 29 年度』の「版画Ⅲ」を参照して、制作を進める。

教科書『新版 版画』第 2 章「モノタイプ」を参照。

[面接授業]

「木版」または「リトグラフ」（版画 I にて選択していない方の版種を選択）

第 1 日 午前：前提講義及び制作 午後：制作

第 2 日～5 日 午前：制作 午後：制作

第 6 日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「版画 I・II」の単位を修得していること（版画コース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] 油絵学科版画コース 3 年次必修科目。

「版画Ⅲ」、「版画Ⅳ」、「版画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が上がるように授業内容が設定されているが、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。ただし、「版画Ⅴ」のスクーリングは受講経験のある版種を選択すること。

通信授業を受講するにあたり、選択版種に応じて設備・機材を使用できる環境にあることが望ましい。

教材等

教科書：『新版 版画』（武蔵野美術大学出版局 2012 年）

学習指導書：『版画Ⅲ～Ⅴ 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）